


# 学生相談室・スポーツカウンセリンググループだより



2022年春  
今堀カウンセラー

春、大阪体育大学の桜も満開の時期を迎えました。コロナウィルスによる感染拡大を防ぐため、学生生活に制限が加わって三年目に入ります。学業やクラブ活動、またキャンパスでの何気ない日常を通して、多くの人と出会い語り合うには多くの制限が残ったままです。はたしてこうした状況下、学生生活を豊かなものにするためにはどのような心構えが必要でしょうか。

大学では、「論述形式」でレポートを作成することが求められます。「論述形式」とは、自分が立てた「仮説」を立証していく、文章の形式をいいます。ここでは、自分が立てた「仮説」が正しいことを第三者にも納得してもらえるよう、なるべく客観的な視点から「根拠」を示すことが求められます。

私は、「他者」を理解しようとする際にも、「仮説を検証する」という客観的な視点を持つことが必要だと考えます。むしろ、コロナ禍での学生生活にあって、この視点は必要不可欠だと考えています。なぜなら、コロナ禍では「他者」と接触する機会が、以前より格段に少なくなったからです。そうしたなかでの貴重な出会いを大切にするためには、「○さんは✖」「■さんは●」などとすぐ結論を出さず、「○さんは✖ではないか」「■さんは●ではないか」と「仮説」にとどめて、ゆっくり「検証」していくことをお勧めしたいのです。

「仮説を検証する」ように、「他者」をゆっくり丁寧に理解していくという心構えを、ぜひ参考にしてみてください。そして、学生生活がより豊かになりますよう、学生相談室スタッフ一同が応援していることも、ぜひお忘れなく。

大阪体育大学学生相談室・スポーツカウンセリンググループ

✉ mental@ouhs.ac.jp

☎ 072-453-8936